

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社シリコンテクノロジー					
代表者名	氏名	山口 容史	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県佐久市協和 8 9 7 - 2 0					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 8 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	半導体単結晶シリコン及びシリコンウェーハの製造、販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2, 178	2, 112	2, 384	2, 831	2, 602
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4, 113	3, 989	4, 500	5, 327	4, 898
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	10		11	13	19
自動車の台数	台	5		5	5	5
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	4				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

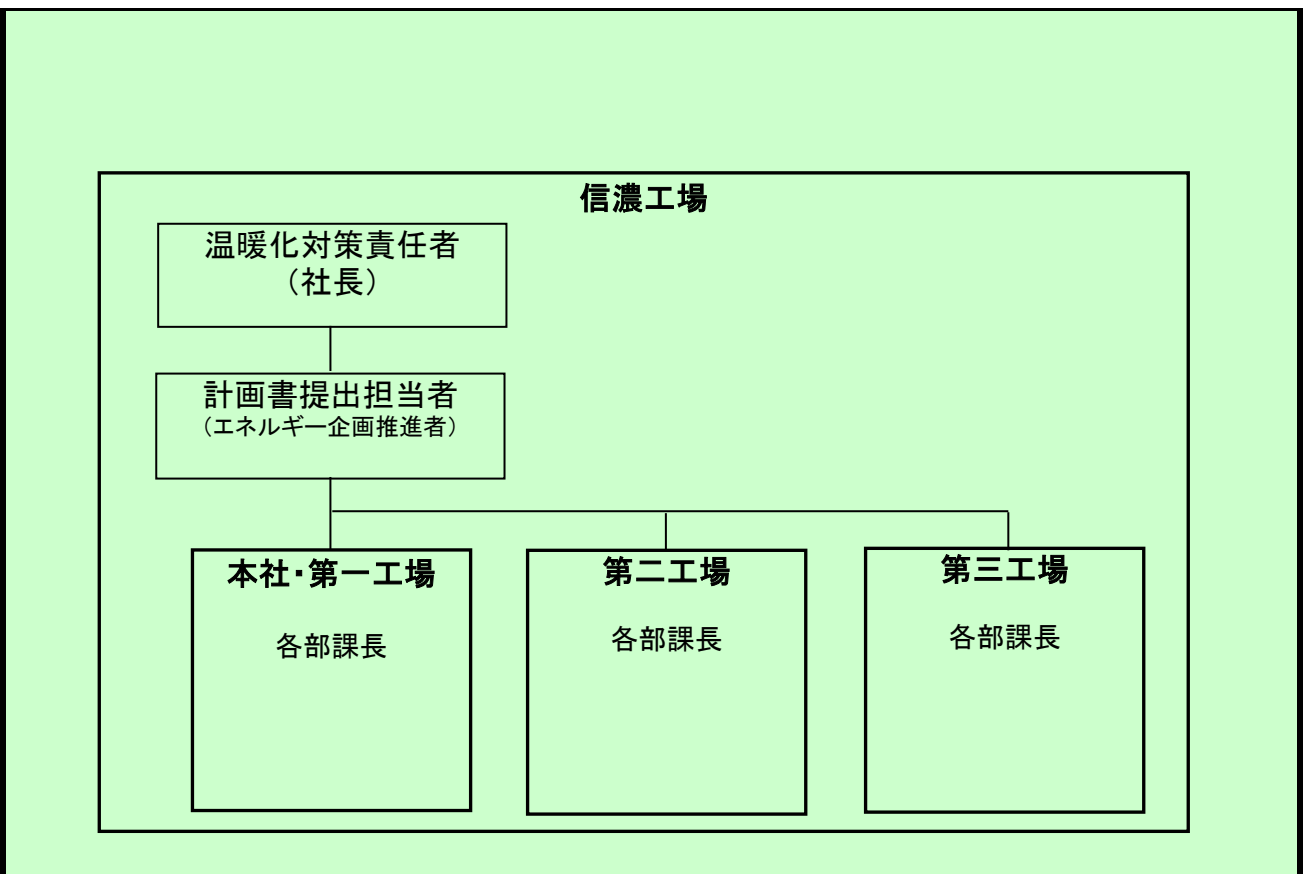
<input type="checkbox"/>	ホームページ	本社第一工場において、9～17時まで 担当部署：事務部 連絡先：0267-53-6440
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

省エネルギー及び省資源を環境管理重点テーマの一つとし、環境管理重点テーマ達成のために、部門毎に環境目的と環境目標を設定し、全部門をあげて環境管理を推進する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

「省エネルギー委員会」にて1回/月実施

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,113	t-CO ₂	生産重量	57.66	単位	t
2019年度	調整後排出量	4,113	t-CO ₂	基準原単位	71.33	t-CO ₂ /	t
目標年度	目標排出量	3,989	t-CO ₂	目標原単位	69.19	t-CO ₂ /	t
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	【環境管理重点テーマ】からの環境目標に基づき二酸化炭素排出量年間1%削減の実施を目標とする。						
第一年度	排出量	4,500	t-CO ₂	生産重量	65.48	単位	t
	削減率	-9.41	%	原単位	68.72	t-CO ₂ /	t
2020年度	調整後排出量	4,500	t-CO ₂	原単位削減率	3.65	%	
	削減率	-9.41	%				
排出量等の増減理由	①. 前年より生産量の大幅増加や試験運転の増加により、合計排出量が増えています。 ②. 生産量の大幅増加により、生産効率が上がり原単位としては下がっています。						
第二年度	排出量	5,327	t-CO ₂	生産重量	82.39	単位	t
	削減率	-29.52	%	原単位	64.66	t-CO ₂ /	t
2021年度	調整後排出量	5,327	t-CO ₂	原単位削減率	9.35	%	
	削減率	-29.52	%				
排出量等の増減理由	①. 生産量の大幅増加や試験品生産運転の増加により、合計排出量が増えています。 ②. 生産量の大幅増加と効率化を測った工程があったことから、生産効率が上がり全体の原単位としては下がっています。						
第三年度	排出量	4,898	t-CO ₂	生産重量	71.37	単位	t
	削減率	-19.09	t-CO ₂	原単位	68.62	t-CO ₂ /	t
2022年度	調整後排出量	4,898	t-CO ₂	原単位削減率	3.79	%	
	削減率	-19.09	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	①. 基準年度より生産量の増加や高負荷価値品の増加により、合計排出量が増えています。 ②. 基準年度より生産量が増加と効率化を測った工程があったことから、生産効率が上がり全体の原単位としては下がっていますが、高負荷価値品にシフト傾向のため昨年より原単位は落ちています。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	11	t-CO ₂			単位	
	削減率	-10.00	%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	13	t-CO ₂			単位	
	削減率	-30.00	%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	19	t-CO ₂			単位	
	削減率	-90.00	%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330299	空気調和設備、換気設備に係るその他の削減対策(第二工場断熱塗装)	2021～2022	16	2022	10
2	エネ起	330299	空気調和設備、換気設備に係るその他の削減対策(第三工場断熱塗装)	2022	8		
3	エネ起	350699	受変電設備及び配電設備に係るその他の削減対策(第三工場トランス更新)	2021～2022	1.1		
4	エネ起	350699	受変電設備及び配電設備に係るその他の削減対策(第一工場一般動力トランス更新)	2020	2.5	2020	2.5
5	エネ起	350699	受変電設備及び配電設備に係るその他の削減対策(第一工場440Vトランス更新)	2021～2022	7.1	2021	4.6
6	エネ起	380752	LED照明の導入(第三工場内)	2021	5		
7	エネ起	380752	LED照明の導入(第二工場内)	2022	25	2022	9
8	エネ起	その他	製造ラインの生産性見直しによるプレート洗浄工程の一部廃止	2020	35		
9	エネ起	その他	製造ラインの生産性見直しによるE前洗浄工程の廃止	2020	7.5	2022	5
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満								
1,500kl未満	3	4,113	3	4,500	3	5,327	3	4,898
合計	3	4,113	3	4,500	3	5,327	3	4,898

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄	4	4	4	4
N ₂ O	6	7	9	15
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	10	11	13	19

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	5	5	5	5
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車利用促進	
来客者の交通対策	
物流の合理化	

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2004年
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	グリーン調達基準の導入		2008年

1.5 自由記載欄

<p>環境保全活動として以下のことを【環境管理重点テーマ】として定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 排気と排水対策 ② 化学物質の適正管理 ③ 省エネルギー及び省資源 ④ 廃棄物削減及び分別処理
